

編 集 後 記

平成6年度の水辺空間整備に関するリバーフロント研究所報告をお届け致します。毎年の事ではありますが、業務の繁忙な折に締切に間に合わせるための努力を行って下さいました、執筆者の方々にまずもってお礼申し上げます。

平成6年1月の兵庫県南部地震では、我々の知人の方々にも被害が及びその自然の力の恐ろしさを痛感致したものであります。今回の災害で亡くなられたり、被害を受けられた方々に慎んでお悔みを申し上げます。

さて、今回の報告書は少し体裁を変更致しました。これまでのスタイルに馴染みのある方々にはあるいは奇異に写ることかと思いますが、論文が増えたことによる紙面の増加に対し読みやすさを考えた結果、二列の編集スタイルに変えたものです。

論文としては、スーパー堤防の地震時の安定性の評価、水質に関するもの、多自然型川づくりに関するもの、魚ののぼりやすい川づくり、景観整備のガイドライン、川と風土の関係等を取り上げております。平成6年の第5号と比較しますと、ふるさとの川整備計画に関するものから多自然型川づくりに関するものが増えたことがお分かり頂けることと思います。現在の課題が如実に現れているものと実感しております。

今後この報告書が皆様のお役に立つようにテーマの検討を含め益々努力する所存でありますので、皆様のご指導とご鞭撻をお願い致します。

編集担当 研究第3部 上 野 久
木 田 直 秀

1995年3月30日発行

リバーフロント研究所報告

第6号

発行者 財団法人 リバーフロント整備センター
〒102 東京都千代田区三番町3番地8
(泉館三番町3階)
TEL 03-3265-7121 FAX 03-3265-7456

印刷所 西印刷株式会社
